

令和2年度 研究外部評価（事前評価）におけるコメントおよび対応

整理番号	テーマ名	評価点	総合評価
20-P7	赤絵具の耐久性向上に関する研究	15.2	B
研究期間	令和3年度～令和4年度（2カ年）		
研究概要	食器洗浄器に関する JIS 規格に対応するため、赤絵具の耐久性の改良を行う。		
外部評価委員のコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 九谷焼を含む全国の陶器の技術発展の為に問題解決してください。 ・ 着色材の種類は何種類くらいあるのでしょうか。新規性の高い研究かと思しますので研究成果に期待します。 ・ 県の特産品である九谷焼の品質向上及び機能性向上、さらには食洗機での利用拡大に向けて、社会的にも必要とされる研究と考えられます。 ・ JIS 試験法の範疇かと思われませんが、退色後の耐酸赤絵具の Pb の溶性特性について（食洗機試験による）、アルカリであれば Pb は溶性しやすくなるのではないのでしょうか？配慮しなくてもいいのか確認すべきかと考えます。 ・ 食洗機の使用は現代において避けて通れないことですので、伝統絵具もそれに合う形に適応させていくことは極めて重要な事と思います。やはり、従来の絵具に遜色ない使用感が得られることが現場において重要となると思いますので、耐久性と同時に絵具としての使いやすさも保ちながら開発を進めていただきたいと思います。 ・ 将来的に役に立つと思われます。 ・ 技術的に難しい面もありますが、業界をリードするためにもぜひ成功させてください。 ・ 伝統工芸品の分野でも産地間や諸外国との競争に晒されており、JIS に試験法が制定される時期に合わせて赤絵具の耐久性向上を計り、競争力を付けることが必要になると思います。良い絵具が開発されることを期待します。 ・ 安定した赤色を保つことは難しい事かと思いました。今後も伝統文化の進化の為に改良開発してほしいです。 ・ 食器洗浄機に対応した耐久性の高い赤色和絵具を開発することを目標とした研究であり、社会的重要性が高く、実現性も高いです。耐久性向上と引き換えに色合いや風味などが従来の絵具に比べて劣らないようにご留意いただければ幸いです。また、赤だけでなく他の色への本研究の知見が活かされれば、さらに波及効果が期待できます。 ・ 和絵具での成果は得られているので、赤絵具での JIS 規格に添った成果を期待します。 			

• 目標を整理しておく必要があると思います。

1. 「非対応を明示するもの」と「JIS 規格に対応した製品」の識別
2. JIS : BS、業務 : 家庭、耐酸 : 無鉛について、マトリックス上で識別を明確化
3. 数値目標 (家庭用 JIS 規格後で絵具の光沢度が 70 以上、試験前後差 20 以内)